

# 2025年度(2026年3月期) 通期 決算説明会

2026年5月1日  
セイコーエプソン株式会社

## 2025年度第4四半期

- 厳しい経済環境下においても、プリンティングソリューションズ、マイクロデバイスで需要を着実に取り込み。特にプリンティングソリューションズでは厳しくみた想定を上回る実績となった
- 米国関税によるコスト増の影響があったものの、為替のプラス影響も寄与し、事業利益段階では増収増益を達成した
- Fieryは、市場での投資先送り傾向を踏まえて将来計画を保守的に見直し、Fiery買収に伴うのれんの一部について減損損失を計上。四半期利益は大幅な減益となった

## 2026年度通期業績予想

- 第4四半期実績のモメンタムも踏まえ、原油・エネルギー価格上昇への対応も進めながら、四半期ごとに着実に実績を積み上げ、増収増益となる売上収益14,500億円、事業利益900億円を見込む
- 中期経営計画Phase 1の1年次として、成長に向けた事業基盤の変革を進める
  - ・ プレジジョンイノベーションは、需要拡大に向けた投資をおこない、市場以上の伸長を目指す
  - ・ オフィス・ホームプリンティングは、新興市場の市場拡大機会をとらえるとともに、生産や販売の効率化を進める

## 株主還元

- 2026年度は6円増配、1株当たり年間 80円を予想

- 本日のご説明のポイントです。
- 厳しい経済環境下においても、プリンティングソリューションズ、マイクロデバイスで需要を着実に取り込み、特にプリンティングソリューションズでは厳しくみた想定を上回る実績となりました。
- 米国関税によるコスト増の影響があったものの、為替のプラス影響も寄与し、事業利益段階では増収増益を達成しました。
- Fieryの業績については、北米関税政策に端を発する商業印刷市場の投資先送り傾向を踏まえ、将来計画を保守的に見直した結果、Fiery買収に伴うのれんの一部について2025年度で減損損失を計上することとしました。それに伴い当期利益は大幅な減益となりました。
- 一方で、各事業はENGINEERED FUTURE 2035に向けた戦略を進めており足元の第4四半期実績のモメンタムも踏まえ成長戦略実現に向けた取り組みを着実に進めていけるものと考えております。
- 2026年度は、中東情勢に伴う世界経済への影響および原油・エネルギー価格上昇への対応もすすめながら、四半期ごと着実に実績を積み上げてまいります。
- その結果、通期では増収増益となる売上収益14,500億円、事業利益900億円を見込みます。
- そして、中期経営計画Phase 1の一年次として、成長に向けた事業基盤の変革を進めます。
- 株主還元は、6円増配の1株当たり年間80円を予想します。

(億円)

		第4四半期			通期				
		2024年度 実績	2025年度 実績	対前年同期	2024年度 実績	2025年度 前回予想	2025年度 実績	対前年同期	対前回予想
プリンティングソリューションズ	売上収益	2,483	2,743	+10.4%	9,801	10,140	10,295	+5.0%	+1.5%
	セグメント利益	281	316	+12.5%	1,248	1,120	1,206	-3.4%	+7.7%
オフィス・ホームプリンティング	売上収益	1,676	1,869	+11.6%	6,805	6,860	6,952	+2.2%	+1.3%
	事業利益	154	171	+11.0%	639	550	595	-6.9%	+8.2%
商業・産業プリンティング	売上収益	808	874	+8.1%	2,998	3,280	3,344	+11.6%	+1.9%
	事業利益	127	145	+14.3%	609	570	611	+0.3%	+7.2%
ビジュアルコミュニケーション	売上収益	447	439	-1.7%	2,038	1,790	1,814	-11.0%	+1.3%
	セグメント利益	50	9	-82.3%	290	130	123	-57.8%	-5.7%
マニュファクチャリング関連・ウェアラブル	売上収益	473	522	+10.4%	1,815	2,000	2,061	+13.6%	+3.0%
	セグメント利益	-3	26	-	-32	110	108	-	-1.8%
連結合計	売上収益	3,391	3,694	+8.9%	13,629	13,900	14,133	+3.7%	+1.7%
	事業利益	156	200	+27.9%	896	750	838	-6.5%	+11.7%

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

2

➤ 第4四半期実績ならびに2025年度通期実績は、ご覧のとおりです。

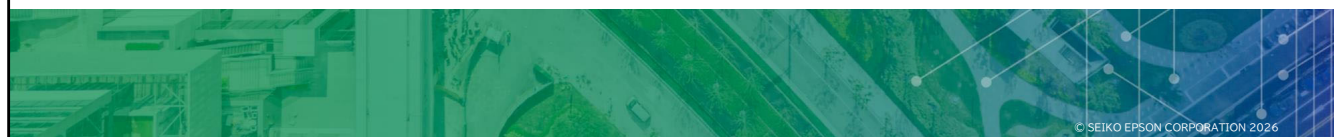
		(億円)		
		通期		
		2025年度 実績	2026年度 予想	対前年同期
プレジジョンイノベーション	売上収益	1,675	1,820	+8.6%
	セグメント利益	440	500	+13.6%
インダストリアル&ロボティクス	売上収益	2,978	3,100	+4.1%
	セグメント利益	202	240	+18.8%
オフィス・ホームプリンティング	売上収益	6,925	6,980	+0.8%
	セグメント利益	612	560	-8.5%
ビジュアル&ライフスタイル	売上収益	2,509	2,520	+0.4%
	セグメント利益	169	200	+18.2%
連結合計	売上収益	14,133	14,500	+2.6%
	事業利益	838	900	+7.4%

➤ こちらは、2026年度通期業績予想です。

2025年度第4四半期実績

2025年度通期実績

2026年度業績予想・株主還元



© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

(億円)	2024年度		2025年度		対前年同期	
	Q4実績	%	Q4実績	%	増減額	増減率
売上収益	3,391		3,694		+303	+8.9%
事業利益	156	4.6%	200	5.4%	+44	+27.9%
営業利益	122	3.6%	-88	-2.4%	-211	-
税引前利益	112	3.3%	-87	-2.4%	-199	-
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	78	2.3%	-172	-4.7%	-250	-
EPS*1(円)	24.25		-53.82			
為替レート (円、指数)	USD	¥152.51	¥156.75			
	EUR	¥160.39	¥183.57			
	その他通貨*2	-	108			

- 売上収益
  - ・プリンティングソリューションズ、マニファクチャリング関連・ウェアラブルが堅調に推移し増収
- 事業利益
  - ・米国関税の影響を受けるも、為替によるプラス影響により増益
- 営業利益以下
  - ・Fieryなどで減損損失を計上

為替影響額 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計	総計
売上収益	+35	+78	+82	+195
事業利益	-7	+52	+46	+91

\*1 EPS：基本的1株当たり当期利益  
\*2 その他通貨について、当期と前期レートでの円換算合計金額を比較し、前年同期を100として指数で表示

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

5

- それでは、第4四半期の実績をご説明します。
- 前年同期に対して、売上収益は 303億円増収の 3,694億円、事業利益は 44億円増益の 200億円となりました。
- 当四半期は、引き続きビジュアルコミュニケーションで厳しい市場環境の影響を受けたものの、プリンティングソリューションズやマニファクチャリング関連・ウェアラブルは堅調に推移しました。
- また、前年同期に対して円安によるプラス影響もありました。
- これらの結果、売上収益は増収となり、事業利益も米国関税の影響があるなか、増益となりました。
- 一方で、その他の営業費用で減損損失を計上した結果、営業利益は 88億円の損失、税引前利益は 87億円の損失、四半期利益は 172億円の損失となりました。
- なお、厳しい外部環境を前提とした社内計画に対しては、売上収益、事業利益ともに上回りました。

## 買収にともない計上したのれんの一部について259億円の減損損失を計上

## 背景

- 2025年4月以降の米国関税政策に端を発し、企業の投資に対する慎重姿勢が強まり、Fieryの商業印刷・産業印刷の両領域において市場環境が想定よりも悪化
- 売上収益の大半を占める商業印刷を主とするカットシート領域では、市場全体の減速に応じて買収時の想定を下回って推移、2025年度の売上が前年度より10%程度減少
- 産業印刷領域は、新規顧客拡大は進展しているものの、業績への寄与には当初想定より時間を要している

## 内容

- 上記の状況の変化と、先行きの不透明性を踏まえ、急速な売上回復はないものとして事業計画およびそれによる将来収益の見通しを変更
- 減損テストにおいて回収可能価額が帳簿価額を下回ったため、のれんの減損損失259億円を計上

## 今後について

- 市場の数量要因を除くと、Fieryの既存事業のプレゼンス・収益構造などの変化はなく、特に産業印刷領域でのデジタル化の進展という成長トレンドも継続
- シナジーの創出についても取り組みは進展しており、中期的な成長ドライバーとしての期待に変化はない

- Fieryの減損損失についてご説明します。
- 2024年12月に買収したFieryののれんの一部について259億円の減損損失を計上しました。

- 2025年4月以降の米国関税政策に端を発し、企業の投資に対する慎重姿勢が強まり、Fieryの商業印刷・産業印刷の両領域において市場環境が想定よりも悪化しました。
- 売上収益の大半を占める商業印刷を主とするカットシート領域では、市場全体の減速に応じて買収時の想定を下回って推移し、2025年度の売上が前年度より10%程度減少しています。
- また、産業印刷領域は、新規顧客拡大は進展しているものの、業績への寄与には当初想定より時間を要しています。

- 上記の状況の変化と、先行きの不透明性を踏まえ、急速な売上回復はないものとして事業計画およびそれによる将来収益の見通しを変更し、減損テストにおいて回収可能価額が帳簿価額を下回ったため、のれんの減損損失259億円を計上しました。

- なお、市場の数量要因を除くと、Fieryの既存事業のプレゼンス・収益構造などの変化はなく、特に産業印刷領域でのデジタル化の進展という成長トレンドも継続しています。
- シナジーの創出についても取り組みは進展しており、中期的な成長ドライバーとしての期待に変化はありません。



(億円)					
プリンティングソリューションズ	2024年度 Q4実績	2025年度 Q4実績	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	2,483	2,743	+259	+155	+10.4%
セグメント利益	281	316	+35	+80	+12.5%
セグメント利益率	11.3%	11.5%			

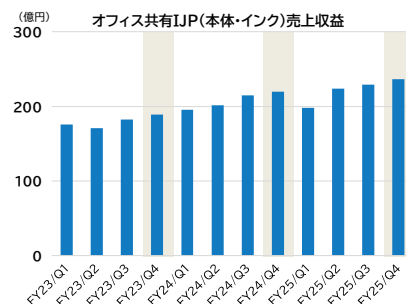
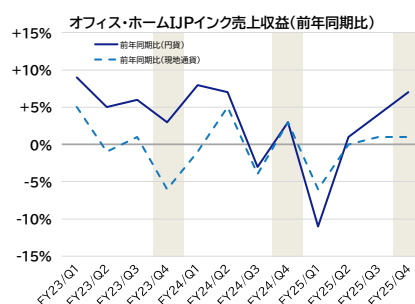
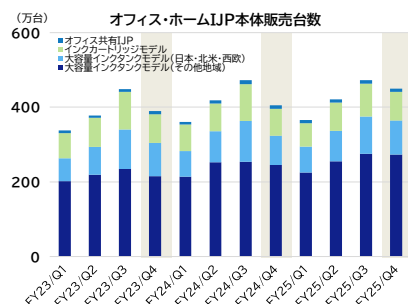
  

オフィス・ホームプリンティング	2024年度 Q4実績	2025年度 Q4実績	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	1,676	1,869	+194	+105	+11.6%
オフィス・ホームIJP(SOHO・ホームIJP) <sup>*1</sup>	1,294	1,472	+178	+13.8%	
オフィス・ホームIJP(オフィス共有IJP) <sup>*2</sup>	220	237	+17	+7.8%	
その他 <sup>*3</sup>	162	161	-1	-0.9%	
事業利益	154	171	+17	+54	+11.0%
事業利益率	9.2%	9.2%			

\*1 SOHO・ホーム向けI/Cモデル・大容量インクタンクモデル本体、インクなど \*2 オフィス向けI/Cモデル・RIPS・LIJ本体、インクなど \*3 スキャナー、SIDM、LP、乾式オフィス製紙機など

#### ■ オフィス・ホームプリンティング

- SOHO・ホームIJPは、販売施策の強化により、新興国や北米で大容量インクタンクモデルの販売が好調
- オフィス共有IJPの販売は、前年同期並みで推移
- インクは、インクカートリッジの減少を大容量インクボトルとオフィス共有IJPインクの増加が補い、前年同期並み
- 米国関税の影響に加えて、在庫削減影響があったものの、増収により増益



© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

7

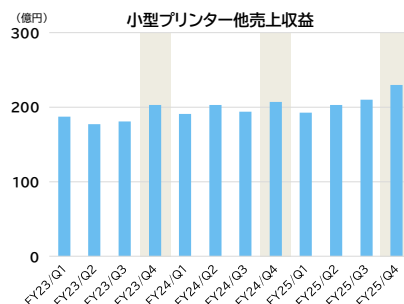
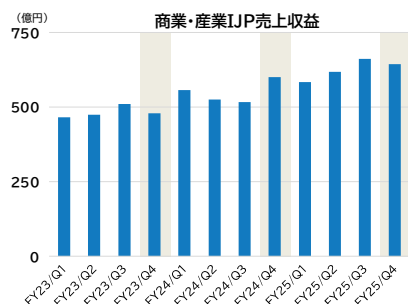
- 事業セグメント別にご説明します。
- プリンティングソリューションズの売上収益は前年同期に対して 259億円増収の 2,743億円、セグメント利益は 35億円増益の 316億円となりました。
- オフィス・ホームプリンティングの売上収益は 1,869億円、事業利益は 171億円となりました。
- SOHO・ホームIJPの本体は、販売施策の強化により、新興国や北米で大容量インクタンクモデルの販売が好調に推移しました。
- また、販売価格は、大容量インクタンクモデルを中心に前年を上回りました。
- オフィス共有IJPの販売は、前年同期並みで推移しています。
- オフィス・ホームIJPのインクはインクカートリッジの減少を大容量インクボトルとオフィス共有IJPインクの増加が補い、前年同期並みとなりました。
- 事業利益は、米国関税の影響や在庫削減に伴うマイナス影響を受けたものの、増収により増益となりました。
- 社内計画に対しては、大容量インクタンクモデルの販売台数や価格が予想を上回ったことや、インク販売も予想を上回ったことで、売上収益・事業利益ともに上回りました。



商業・産業プリンティング	2024年度 Q4実績	2025年度 Q4実績	増減額	内為替 影響額	増減率
売上収益	808	874	+66	+50	+8.1%
商業・産業IJP	601	644	+43		+7.1%
小型プリンター他	207	230	+23		+11.0%
事業利益	127	145	+18	+27	+14.3%
事業利益率	15.7%	16.6%			

## ■ 商業・産業プリンティング

- ・商業・産業IJP完成品は、新製品の販売効果もあり増収
- ・プリントヘッド外販は、前年同期並み
- ・Fieryは、前年同期は4ヵ月分の実績を計上
- ・小型プリンター他は、堅調に推移
- ・増収により増益



© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

8

- 商業・産業プリンティングの売上収益は 874億円、事業利益は 145億円となりました。
- 商業・産業IJPは増収となりました。
- 完成品は、新製品の販売効果もあり増収となりました。
- プrintヘッド外販は、前年同期並みに推移しています。
- Fieryは、前年同期は第4四半期に4ヵ月分計上したことに対して、当四半期は3ヵ月分であることから、減収となりました。
- 小型プリンター他は、堅調に推移しています。
- 事業利益は、増収により増益となりました。
- 社内計画に対しては、売上収益、事業利益ともに計画を上回りました。

	2024年度 Q4実績	2025年度 Q4実績	増減額	内為替 影響額	増減率
ビジュアルコミュニケーション					
売上収益	447	439	-8	+27	-1.7%
セグメント利益	50	9	-41	+13	-82.3%
セグメント利益率	11.1%	2.0%			

## ■ ビジュアルコミュニケーション

- ・プロジェクターの需要停滞が継続
- ・米国関税影響の他、在庫削減が進めたことにより減益

◆ プロジェクター販売動向<sup>※</sup>  
(前年同期比増減率)

	2024年度 Q4実績	2025年度 Q4実績
売上収益(円貨)	-6%	-2%
売上収益(現地通貨)	-7%	-8%
販売数量	-12%	-11%

\* 社内管理値に基づく指標

	2024年度 Q4実績	2025年度 Q4実績	増減額	内為替 影響額	増減率
マニファクチャリング関連・ウェアラブル					
売上収益	473	522	+49	+14	+10.4%
マニファクチャリングソリューションズ <sup>※</sup>	54	60	+5		+9.8%
ウェアラブル機器	92	94	+2		+2.5%
マイクロデバイス他	267	305	+37		+14.0%
PC	70	71	+2		+2.6%
事業間売上収益	-10	-8	-		-
セグメント利益	-3	26	+30	-2	-
セグメント利益率	-0.7%	5.1%			

\* FY24/Q3より、小型射出成形機等を「全社費用・その他」に計上(影響は軽微)

## ■ マニファクチャリング関連・ウェアラブル

- ・マニファクチャリングソリューションズは地域ごとに需要の濃淡はあるものの増収
- ・ウェアラブル機器は、前年同期並み
- ・マイクロデバイス他は、水晶デバイスの民生機器向けや、基地局・ネットワーク向けを中心に増収
- ・費用削減効果もあり、赤字だった前年同期に対して大幅に業績改善

- ビジュアルコミュニケーションの売上収益は、前年同期に対して 8億円減収の 439億円、セグメント利益は 41億円減益の 9億円となりました。
- プロジェクターの市場環境は引き続き厳しい状況が継続しています。

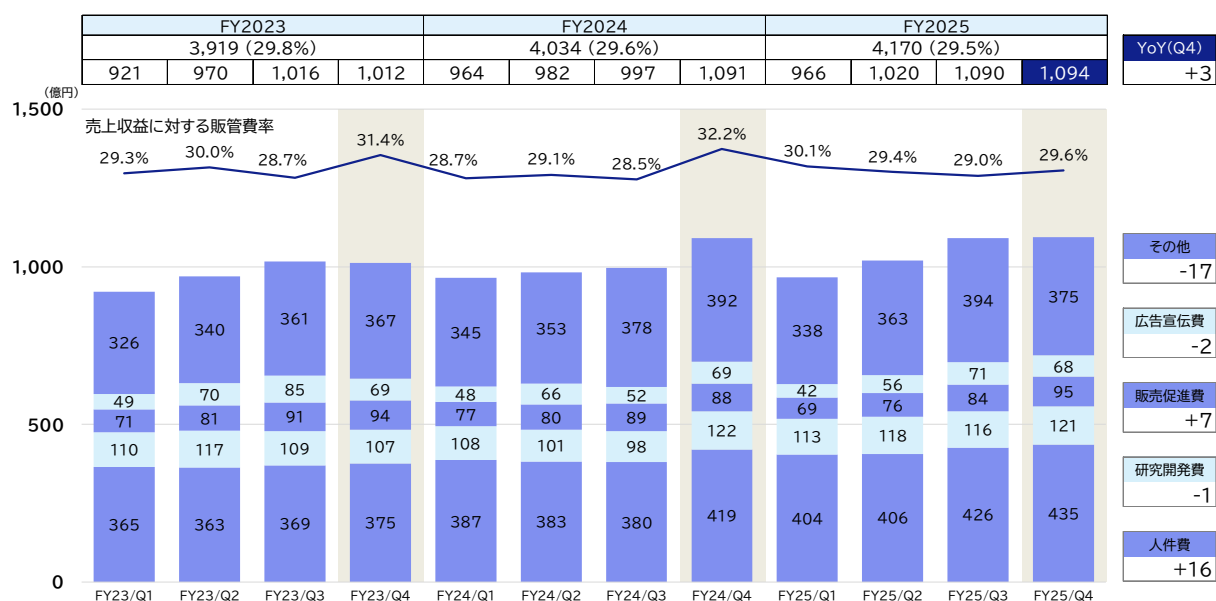
- セグメント利益は、減収に加え、米国関税の影響を受けた他、在庫削減を進めたことにより減益となりました。

- 社内計画に対しては、売上収益は上回ったものの、セグメント利益は未達となりました。

- マニファクチャリング関連・ウェアラブルの売上収益は、前年同期に対して 49億円増収の 522億円となりました。
- マニファクチャリングソリューションズは、地域ごとに需要の濃淡はあるものの、増収となりました。
- ウェアラブル機器は、前年同期並みとなりました。
- マイクロデバイス他は、水晶デバイスで、民生機器向けや、基地局・ネットワーク向けを中心に増収となりました。

- セグメント利益は、増収に加え、前期より進めてきた費用削減効果もあり、26億円の黒字と大幅に業績が改善しました。

- 社内計画に対しては、売上収益は上回ったものの、セグメント利益は計画並みとなりました。

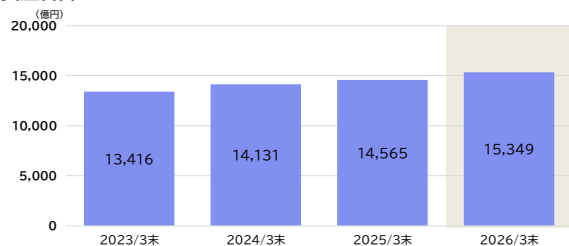


© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

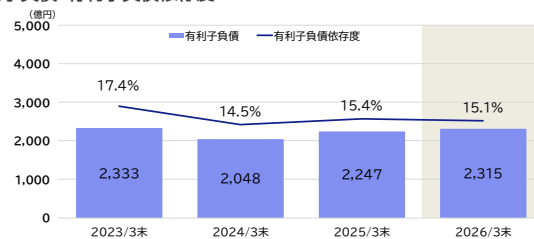
10

➤ 販売費及び一般管理費推移は、グラフの通りです。

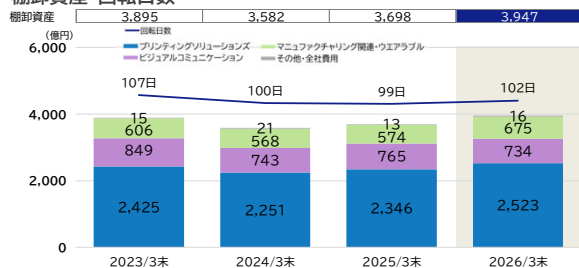
資産合計



有利子負債・有利子負債依存度



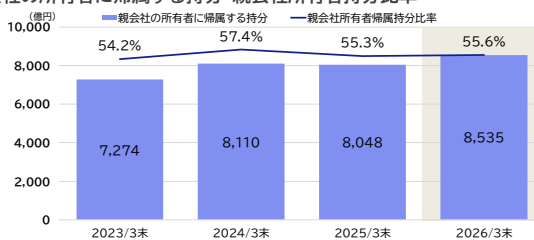
棚卸資産・回転日数\*



ネットキャッシュ

2023/3末	341	2024/3末	1,237	2025/3末	423	2026/3末	571
---------	-----	---------	-------	---------	-----	---------	-----

親会社の所有者に帰属する持分・親会社所有者持分比率



\*回転日数(3月末)＝連結会計期間末棚卸資産残高／連結会計期間末通算12ヶ月間の1日当たり売上収益

➤ 財政状態計算書の主要項目はご覧の通りです。

2025年度第4四半期実績

2025年度通期実績

2026年度業績予想・株主還元



© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

(億円)	2024年度		2025年度		増減額／増減率	
	実績	%	2/3予想	%	対前期	対 2/3予想
売上収益	13,629		13,900		+503 +3.7%	+233 +1.7%
事業利益	896	6.6%	750	5.4%	-58 -6.5%	+88 +11.7%
営業利益	751	5.5%	670	4.8%	-255 -34.0%	-174 -26.0%
税引前利益	784	5.8%	680	4.9%	-284 -36.2%	-180 -26.4%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	552	4.0%	410	2.9%	-370 -67.0%	-228 -55.6%
EPS*1 (円)	168.75		127.95			
為替レート (円、指数)	USD	¥152.47	¥150.00		¥150.69	
	EUR	¥163.64	¥174.00		¥174.74	
	その他通貨*2	-	99		100	
為替影響額 (億円)	USD		EUR	その他通貨 合計	総計	
売上収益	-52		+151	+1	+99	
事業利益	+17		+100	-3	+114	

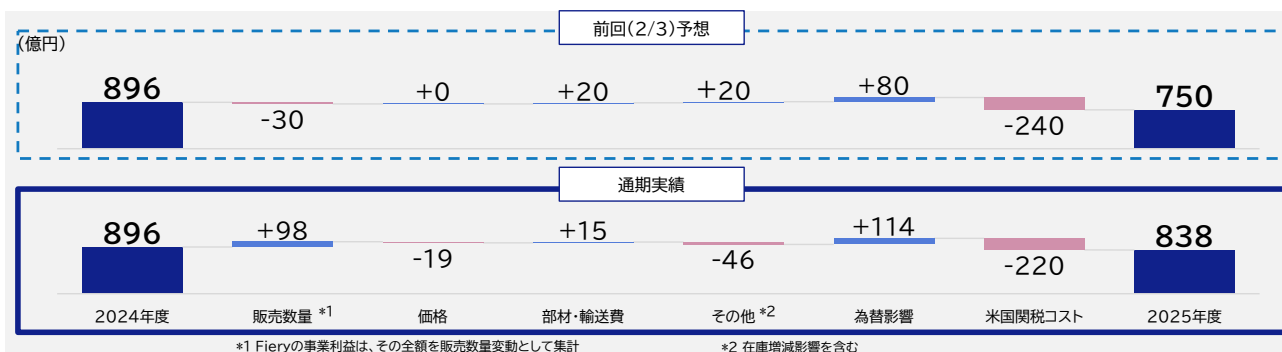
- 売上収益
  - ・プリンティングソリューションズを中心に増収
- 事業利益
  - ・ビジュアルコミュニケーションの減収影響、米国関税影響により減益
- 営業利益以下
  - ・Fieryなどで減損損失を計上

\*1 EPS：基本的1株当たり当期利益  
 \*2 その他通貨について、当期と前期レートでの円換算合計金額を比較し、前期を100として指数で表示

- 続きまして、2025年度 通期業績の実績をご説明します。
- 売上収益は1兆4,133億円、事業利益は838億円となりました。
- 先ほどご説明いたしました通り、第4四半期に減損損失を計上したため、営業利益は496億円、当期利益は182億円となりました。
- なお、税金費用の増加も主に減損損失の計上によるものです。

### 前回予想からの主な変化

- 販売数量 : オフィス・ホームIJP・プリントヘッドなどが想定以上の販売結果
- 価格 : 主要製品で概ね想定通り
- 部材・輸送費 : 貴金属・電子部品などの原材料費が高騰
- その他 : 在庫削減に伴う利益マイナス影響増加
- 為替影響 : 想定に対して円安
- 米国関税コスト : 関税率の変更により減少



© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

14

- 2025年度通期の事業利益増減要因についてご説明します。
- 販売数量は、オフィス・ホームIJP・プリントヘッドなどが想定以上の販売結果となりました。
- 価格は、主要製品でおおむね想定通りの推移でした。
- 部材・輸送費は、貴金属・電子部品などの原材料費高騰の影響は2025年度の業績には限定的でしたが、引き続き注視が必要と認識しています。
- その他は、前回予想から変動していますが、在庫削減に伴う利益マイナス影響増加などによるものです。
- 米国関税コストは、期中での関税率の変化によるものです。



2025年度第4四半期実績

2025年度通期実績

**2026年度業績予想・株主還元**



- 続きまして、2026年度の業績予想ならびに株主還元についてご説明します。

# ENGINEERED FUTURE 2035

技術を進化させ、未来を最適に設計し、価値を社会実装する企業へ。

いま、地球環境、エネルギー、資源、人材、地政学リスクなど、社会や産業を支えてきた構造そのものが大きく変わる転換点にあります。成長のあり方は多様化し、地域や分野によって求められる解も異なる時代。そのとき必要なのは、状況に応じた最適な答えです。

エプソンは「省・小・精」の技術・思想を基盤として、精密技術と現場で培った知見を掛け合わせ、最適解を産業と社会に実装していきます。

産業の生産性と信頼性を高め、持続可能な成長を実現する。  
学び・働き・暮らしに新たな価値を創出し可能性を広げていく。  
人と地球がともに前に進み続けられるよう、社会価値と企業価値を同時に高めていく  
——それが、エプソンの描く“ENGINEERED FUTURE 2035”です。

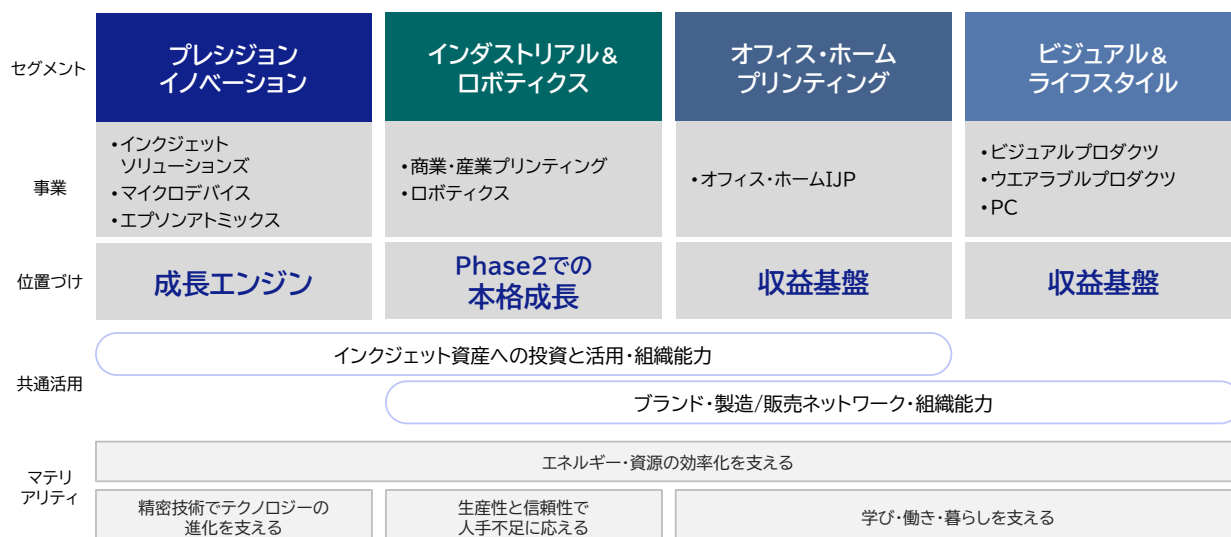
- 2026年3月に新たな長期ビジョン「ENGINEERED FUTURE 2035」を発表しました。
- 「省・小・精」を核に、最適解を設計し、確実に実装することで、産業の競争力を高めると同時に、社会の可能性を広げていきます。
- そして社会価値と経済価値の両立を実現しながら、持続的な成長を積み重ねていきます。
- それが、「ENGINEERED FUTURE 2035」における私たちの目指す姿です。



© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

17

- この長期ビジョンを達成するために、最初の3年間でPhase 1と定め、成長に向けた事業基盤の変革・構築をしていきます。
- 基礎的な収益基盤、収益構造を作り、まずは資本効率を改善し、稼げる体質を作ることを最優先します。
- そして生み出したキャッシュで成長に向けた積極投資を行います。



- また、成長領域を再定義し、事業セグメントを再編しました。
- プレジジョンイノベーションは、付加価値の高い産業用途の急成長市場に向き合っている事業群であり、最も高い売上・利益成長を期待しているセグメントです。
- インダストリアル&ロボティクスは、需要創出も自らしながら、Phase 1からPhase 2に向かってさらなる成長を期待するセグメントです。
- オフィス・ホームプリンティングは、規模の経済を生かした安定的な収益基盤の中心として位置づけます。
- ビジュアル&ライフスタイルは、オペレーションの効率化を進め、これまで以上に収益貢献するセグメントと位置づけます。

2025年度	新セグメント	新サブセグメント	2026年度
<b>プリンティングソリューションズ</b> <b>オフィス・ホームプリンティング</b> オフィス・ホームIJP SOHO・ホームIJP オフィス共有IJP その他 スキャナー・LP SIDM・乾式オフィス製紙機 <b>商業・産業プリンティング</b> 商業・産業IJP 完成品・Fiery プリントヘッド外販 小型プリンター他 小型プリンター 小型ラベルプリンター <b>ビジュアルコミュニケーション</b> <b>マニファクチャリング関連・ウェアラブル</b> マニファクチャリングソリューションズ ウェアラブル機器 マイクロデバイス他 マイクロデバイス(水晶デバイス・半導体) 微細合金粉末 表面処理加工 PC 全社費用・その他	<b>オフィス・ホームプリンティング</b> オフィス・ホームプリンティング オフィス・ホームプリンティング オフィス・ホームプリンティング インダストリアル&ロボティクス インダストリアル&ロボティクス プレシジョンインバージョン オフィス・ホームプリンティング オフィス・ホームプリンティング ビジュアル&ライフスタイル インダストリアル&ロボティクス ビジュアル&ライフスタイル プレシジョンインバージョン プレシジョンインバージョン 全社費用・その他 ビジュアル&ライフスタイル	<b>SOHO・ホーム</b> SOHO・ホーム オフィス共有 オフィス・ホームその他 商業・産業プリンティング 商業・産業プリンティング インクジェットソリューションズ 商業・産業プリンティング オフィス・ホームその他 ビジュアルプロダクツ ロボティクス ウェアラブルプロダクツ マイクロデバイス エプソンアトミックス PC	<b>プレシジョンインバージョン</b> インクジェットソリューションズ マイクロデバイス 水晶デバイス 半導体 エプソンアトミックス <b>インダストリアル&amp;ロボティクス</b> 商業・産業プリンティング 完成品 Fiery 商業・産業その他 小型プリンター・SIDM・乾式オフィス製紙機 ロボティクス <b>オフィス・ホームプリンティング</b> SOHO・ホーム オフィス共有 オフィス・ホームその他 スキャナー・LP・小型ラベルプリンター <b>ビジュアル&amp;ライフスタイル</b> ビジュアルプロダクツ ウェアラブルプロダクツ PC 全社費用・その他

\*一部製品は、完成品からSOHO・ホームに移動

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

19

➤ 具体的な事業セグメントの変更はご覧の通りです。

	2025年度		2026年度		対前期	
(億円)	実績	%	予想	%	増減額	増減率
売上収益	14,133		14,500		+367	+2.6%
事業利益	838	5.9%	900	6.2%	+62	+7.4%
営業利益	496	3.5%	860	5.9%	+364	+73.5%
税引前利益	500	3.5%	840	5.8%	+340	+67.9%
親会社の所有者に帰属する当期利益	182	1.3%	590	4.1%	+408	+224.1%
EPS*1(円)	56.81		184.13			
為替レート (円、指数)	USD	¥150.69	¥151.00			
	EUR	¥174.74	¥175.00			
	その他通貨*2	-	100			
為替感応度*3 (億円)	USD	EUR	その他通貨 合計		年間為替影響額 見込み(億円)	
売上収益	-32	-15	-48		+20	
事業利益	+7	-9	-27		-10	

- 売上収益
  - ・各セグメントで伸長を見込む
- 事業利益
  - ・プレジジョンイノベーションを中心に増益を見込む
- 営業利益以下
  - ・特別な費用発生は見込まず

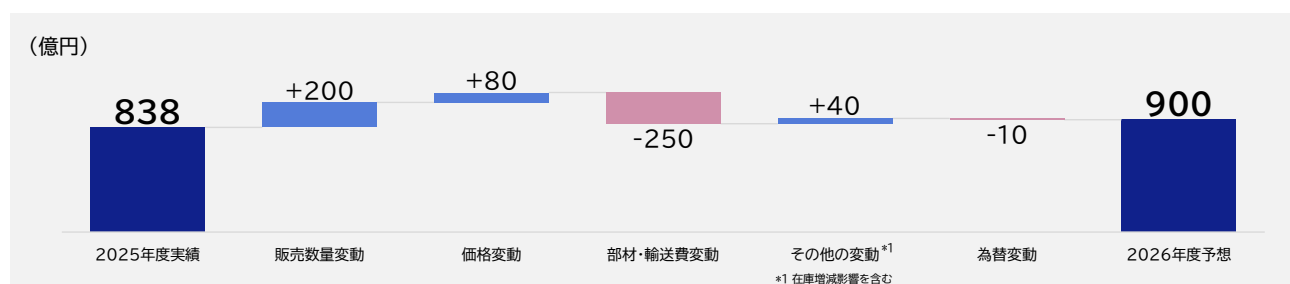
\*1 EPS：基本的1株当たり当期利益  
 \*2 その他通貨について、当期と前期レートでの円換算合計金額を比較し、前年同期を100として指数で表示  
 \*3 USD/EURは1円の円高による年間影響額(億円)、その他通貨は1%の円高による年間影響額(億円)

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026 20

- 以上を踏まえたPhase 1の初年度である、2026年度の通期業績予想はご覧の通りです。
- 売上収益は1兆4,500億円、事業利益は900億円の増収増益を予想します。
- 営業利益は860億円、税金費用は税引前利益の30%の水準に戻り、当期利益は590億円を予想します。

### 原油高、材料費高騰などのリスクが顕在化する中でも、需要は着実に 取り込み、増益を確保

- 販売数量 : プレシジョンイノベーションの各事業や大容量インクタンクモデルの需要に応える
- 価格 : 部材費高騰への対応として一部を販売価格に反映
- 部材・輸送費 : 貴金属・メモリ・原油高影響や輸送費の上昇などを織り込む  
: 米国関税影響は、税率変更でプラス影響を見込む  
: 相互関税の違憲判決に伴う還付は時期未定のため未反映



© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

21

- 2026年度予想の事業利益の増減要因についてご説明します。
- 原油高や材料費高騰などのリスクが顕在化する中でも、需要は着実に取り込み、増益を確保します。
- 販売数量は、プレシジョンイノベーションの各事業や、新興国を中心とした大容量インクタンクモデルの需要に応えます。
- 価格は、部材費の高騰への対応として、一部を販売価格に反映をしました。
- 部材・輸送費については、貴金属・メモリ・原油高影響や輸送費の上昇などを織り込みます。一方で、米国関税影響は、税率変更によりプラス影響を見込みます。
- なお、相互関税の違憲判決に伴う還付は時期未定のため予想には反映してません。



プレシジョンイノベーション	2025年度 実績	2026年度 予想	(億円)	
			増減額	増減率
売上収益	1,675	1,820	+145	+8.6%
インクジェットソリューションズ	628	700	+72	+11.5%
マイクロデバイス	920	990	+70	+7.7%
エプソンアトミックス	156	170	+14	+9.0%
事業間売上収益	-28	-40	-	-
セグメント利益	440	500	+60	+13.6%
セグメント利益率	26.3%	27.5%		

・プレシジョンイノベーションは、需要拡大に対応するため、能力増強や投資を進め、各事業で販売を拡大

・インクジェットソリューションズは、主要市場である中国の回復を見込むほか、他の地域での販売増加を見込むとともに、大型機や高生産機向けの拡販を推進

・マイクロデバイスは、引き続き生産量を拡大し、データセンターやAI、車載市場などの需要拡大に対応

・エプソンアトミックスは、金属粉末事業の旺盛な需要に対して生産能力を増強

- 続いて、事業セグメント別にご説明します。
- プレシジョンイノベーションは、売上収益 1,820億円、セグメント利益 500億円を予想します。
- 能力増強や投資を進め、各事業で需要増の機会を捉え増収を見込みます。
- インクジェットソリューションズは、主要市場である中国の回復を見込むほか、他の地域での販売増加を見込むとともに、大型機や高生産機向けの拡販を推進します。
- マイクロデバイスは、引き続き生産量を拡大し、データセンターやAI、車載市場などの需要拡大に対応していきます。
- エプソンアトミックスは、金属粉末事業の旺盛な需要に対して生産能力を増強します。

インダストリアル&ロボティクス	2025年度 実績	2026年度 予想	(億円)	
			増減額	増減率
売上収益	2,978	3,100	+122	+4.1%
商業・産業プリンティング	2,743	2,840	+97	+3.5%
ロボティクス	235	260	+25	+10.5%
セグメント利益	202	240	+38	+18.8%
セグメント利益率	6.8%	7.7%		

・インダストリアル&ロボティクスは、これまで以上にハードウェア、ソフトウェア、サービスを組み合わせたソリューションを拡充。あわせて、収益性の改善により増益を見込む

・商業・産業プリンティングは、プラットフォーム化したラインアップをさらに広げ、販売拡大

・ロボティクスは、競争力を強化した新製品をラインアップし、需要増の機会を逃さず着実な案件獲得を目指す

- インダストリアル&ロボティクスは、売上収益 3,100億円、セグメント利益 240億円を予想します。
- これまで以上にハードウェア、ソフトウェア、サービスを組み合わせたソリューションを拡充していきます。あわせて、収益性の改善により増益を見込みます。
- 商業・産業プリンティングは、プラットフォーム化したラインアップをさらに広げ、販売拡大を見込みます。
- ロボティクスは、競争力を強化した新製品をラインアップし、需要増の機会を逃さず着実な案件獲得を目指します。

オフィス・ホームプリンティング	2025年度 実績	2026年度 予想	(億円)	
			増減額	増減率
売上収益	6,925	6,980	+55	+0.8%
SOHO・ホーム	5,495	5,410	-85	-1.5%
オフィス共有	888	1,060	+172	+19.4%
オフィス・ホームその他	543	510	-33	-6.1%
セグメント利益	612	560	-52	-8.5%
セグメント利益率	8.8%	8.0%		

・オフィス・ホームプリンティングは、原油高や部材費高騰の影響を受けて利益率が悪化する環境の中でも、オペレーションの効率化を進め、利益を確保

- ・オフィス・ホームIJPの本体台数は1,720万台を予想
- ・SOHO・ホームは、新興国を中心に大容量インクタンクモデルの販売増加
- ・オフィス共有は、新製品の投入や積極的な販売活動を展開

◆ 販売動向 (社内管理値に基づく指標)		2025年度 実績	2026年度 予想
SOHO・ホーム&オフィス共有	伸長率	+3%	+1%
本体販売台数	約、万台	1,710	1,720
SOHO・ホーム		1,370	1,410
大容量インクタンクモデル			
SOHO・ホーム		305	270
インクカートリッジモデル			
オフィス共有		35	40
SOHO・ホーム&オフィス共有	(円貨)	+0%	-3%
インク売上収益伸長率	(現地通貨)	-1%	

- オフィス・ホームプリンティングは、売上収益 6,980億円、セグメント利益 560億円を予想します。
- 原油高や部材費高騰の影響を受けて利益率が悪化する環境の中でも、オペレーションの効率化を進め、利益を確保します。
- オフィス・ホームIJPの本体台数は1,720万台を予想します。
- SOHO・ホームは、新興国を中心に大容量インクタンクモデルの販売台数増加を、また、オフィス共有は、新製品の投入や積極的な販売活動を展開することにより、販売増加を見込みます。

		(億円)	
ビジュアル&ライフスタイル	2025年度 実績	2026年度 予想	
売上収益	2,509	2,520	増減額 +11 増減率 +0.4%
ビジュアルプロダクツ	1,814	1,860	+46 +2.5%
ウェアラブルプロダクツ	411	420	+9 +2.2%
PC	284	240	-44 -15.5%
セグメント利益	169	200	+31 +18.2%
セグメント利益率	6.7%	7.9%	

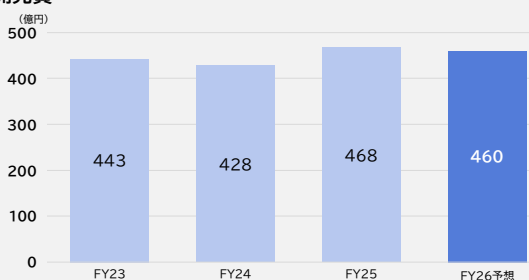
  

◆ 販売動向 (社内管理値に基づく指標)		2025年度 実績	2026年度 予想
プロジェクター販売数量	伸長率	-17%	+0%
	約、万台	130	130

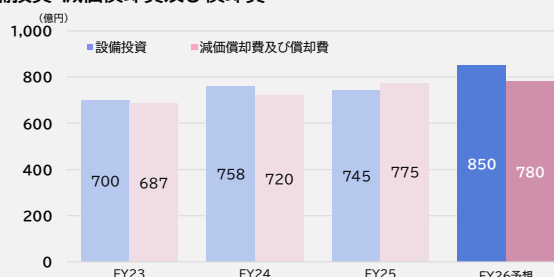
- ・ビジュアル&ライフスタイルは、引き続きオペレーションの効率化や固定費削減など収益基盤の変革を確実に進める
- ・ビジュアルプロダクツは、引き続き厳しい環境を想定するが、教育市場において一部地域で回復の兆し  
ラインアップの最適化などを進めるとともに、地域ごとの需要掘り起こしを行い、年間のプロジェクター販売台数は130万台を予想
- ・ウェアラブルプロダクツは、販売を伸ばしながら効率化を進める
- ・PCは、前年のOSサポート終了に伴う需要増から反転、縮小を見込む

- ビジュアル&ライフスタイルは、売上収益 2,520億円、セグメント利益 200億円を予想します。
- 引き続きオペレーションの効率化や固定費削減など、収益基盤の変革を確実に進めることにより、利益率を改善します。
- ビジュアルプロダクツは、引き続き厳しい環境を想定しますが、教育市場において一部地域で需要回復の兆しが現れています。  
ラインアップの最適化などを進めるとともに、地域ごとの需要掘り起こしを行い、年間のプロジェクター販売台数は 130万台と前期並みを見込みます。
- ウェアラブルプロダクツは、販売を伸ばしながら効率化を進めます。
- PCは、前年のOSサポート終了に伴う需要増から反転、縮小を見込みます。

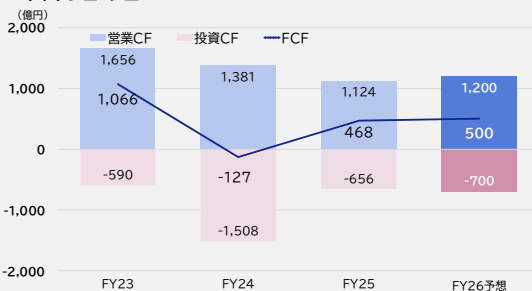
## 研究開発費



## 設備投資・減価償却費及び償却費



## フリー・キャッシュ・フロー



## 主要経営指標

	FY23 実績	FY24 実績	FY25 実績	FY26 予想	FY28 中期目標
為替レート:USD/円	144.44	152.47	150.69	151.00	150.00
為替レート:EUR/円	156.66	163.64	174.74	175.00	170.00
売上収益 (億円)	13,140	13,629	14,133	14,500	15,000
事業利益 (億円)	647	896	838	900	-
親会社の所有者に帰属する当期利益 (億円)	526	552	182	590	-
ROS <sup>*1</sup>	4.9	6.6	5.9	6.2%	8.0%
ROA <sup>*2</sup>	4.7	6.2	5.6	5.9%	-
ROE <sup>*3</sup>	6.8	6.8	2.2	7.0%	10.0%
ROIC <sup>*4</sup>	4.6	6.1	5.5	5.9%	8.0%

\*1 売上収益事業利益率＝事業利益／売上収益  
 \*2 資産合計事業利益率＝事業利益／期首・期末資産合計平均  
 \*3 親会社所有者帰属持分当期利益率＝親会社の所有者に帰属する当期利益／期首・期末親会社の所有者に帰属する持分平均  
 \*4 投下資本利益率＝税引後事業利益／(親会社の所有者に帰属する持分＋有利子負債)  
 税引後事業利益は、事業利益から実効税率相当額(30%)を控除した金額  
 親会社の所有者に帰属する持分および有利子負債は期首・期末平均

© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

26

- 主要費用、フリー・キャッシュ・フロー、主要経営指標はご覧のとおりです。
- 成長分野への積極投資や能力拡張を進めることで、設備投資は 850億円を見込みます。

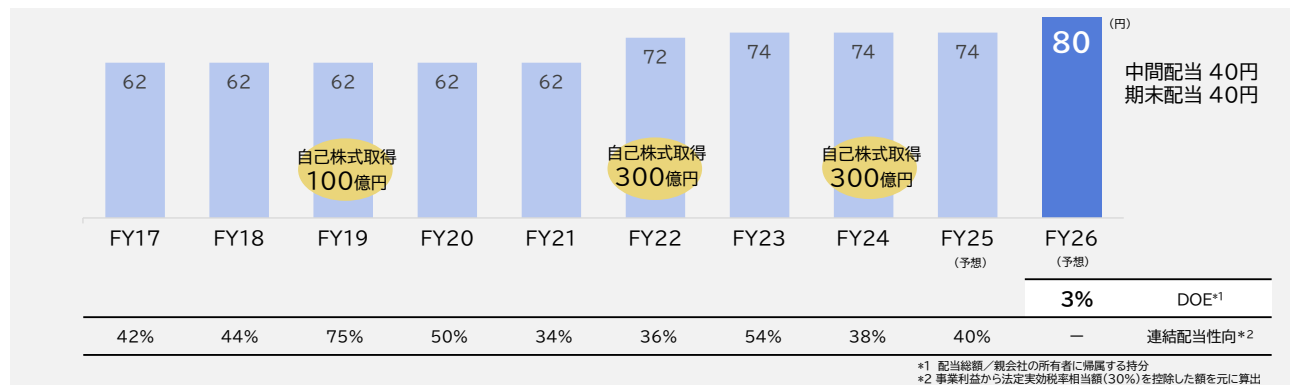
## 基本方針

## 成長戦略に基づく投資を行ったうえで、積極的な利益還元に取り組む

- 配当 : DOE\*1 3%を下限とする安定配当を実施
- 自己株式取得: 株価水準や資金の状況などを総合的に勘案し、機動的に実施

## 配当

2026年度は6円増配、1株当たり年間配当 **80円**を予想



© SEIKO EPSON CORPORATION 2026

27

- 株主還元についてご説明します。
- 成長戦略に基づく投資を行ったうえで、積極的な利益還元に取り組むことを基本方針としています。
- 2026年度からは、株主資本に対して安定的かつ継続的な還元を確保するため、DOE3%を下限とする配当を実施します。
- 自己株式取得は、引き続き、株価水準や資金の状況などを総合的に勘案し、機動的に実施します。
- 2026年度の配当は、前年度より6円増配の1株当たり年間80円を予想します。

**EPSON**



補足資料

---

プリンティングソリューションズ	2024年度 実績	2025年度 2/3予想	2025年度 実績	(億円)			
				対前期 増減額	内為替 影響額	対前期 増減率	対2/3 予想
売上収益	9,801	10,140	10,295	+494	+86	+5.0%	+155
セグメント利益	1,248	1,120	1,206	-43	+112	-3.4%	+86
セグメント利益率	12.7%	11.0%	11.7%				

オフィス・ホームプリンティング	2024年度 実績	2025年度 2/3予想	2025年度 実績				
				対前期 増減額	内為替 影響額	対前期 増減率	対2/3 予想
売上収益	6,805	6,860	6,952	+147	+59	+2.2%	+92
オフィス・ホームIJP(SOHO・ホームIJP)*1	5,306	5,320	5,432	+126		+2.4%	+112
オフィス・ホームIJP(オフィス共有IJP)*2	832	930	888	+56		+6.8%	-42
その他*3	667	610	632	-35		-5.3%	+22
事業利益	639	550	595	-44	+83	-6.9%	+45
事業利益率	9.4%	8.0%	8.6%				

\*1 I/Cモデル・大容量インクタンクモデル本体、インクなど \*2 オフィス向けI/Cモデル・RIPS-IJ本体、インクなど \*3 スキャナー、SIDM、LP、簡式オフィス顕微鏡など

商業・産業プリンティング	2024年度 実績	2025年度 2/3予想	2025年度 実績				
				対前期 増減額	内為替 影響額	対前期 増減率	対2/3 予想
売上収益	2,998	3,280	3,344	+346	+27	+11.6%	+64
商業・産業IJP	2,202	2,460	2,508	+306		+13.9%	+48
小型プリンター他	796	820	836	+40		+5.1%	+16
事業利益	609	570	611	+2	+29	+0.3%	+41
事業利益率	20.3%	17.4%	18.3%				

ビジュアルコミュニケーション	2024年度 実績	2025年度 2/3予想	2025年度 実績	(億円)			
				対前期 増減額	内為替 影響額	対前期 増減率	対2/3 予想
売上収益	2,038	1,790	1,814	-224	+14	-11.0%	+24
セグメント利益	290	130	123	-168	+19	-57.8%	-7
セグメント利益率	14.2%	7.3%	6.8%				

◆プロジェクター販売動向\*  
(前年同期比伸長率)

	2024年度 実績	2025年度 2/3予想	2025年度 実績
販売数量(約、万台)	155	130	130
伸長率	-13%	-16%	-17%

\* 社内管理値に基づく指標

マニファクチャリング関連・ ウェアラブル	2024年度 実績	2025年度 2/3予想	2025年度 実績	(億円)			
				対前期 増減額	内為替 影響額	対前期 増減率	対2/3 予想
売上収益	1,815	2,000	2,061	+246	-2	+13.6%	+61
マニファクチャリングソリューションズ*	221	240	235	+14		+6.5%	-5
ウェアラブル機器	393	390	411	+17		+4.4%	+21
マイクロデバイス他	1,037	1,150	1,160	+123		+11.9%	+10
PC	207	250	284	+77		+37.0%	+34
事業間売上収益	-44	-30	-30	-		-	-
セグメント利益	-32	110	108	+140	-17	-	-2
セグメント利益率	-1.8%	5.5%	5.2%				

\* FY24/Q3より、小型射出成形機ビジネス等を「全社費用・その他」に計上(影響は軽微)

# 主要製品の販売動向

EPSON

				FY2024 Q1実績	FY2024 Q2実績	FY2024 Q3実績	FY2024 Q4実績	FY2024 通期実績	FY2025 Q1実績	FY2025 Q2実績	FY2025 Q3実績	FY2025 Q4実績	FY2025 通期実績	FY2026 通期予想	
*社内管理値に基づく指標 伸長率は前年同期比			USD EUR	155.79 167.74	149.23 163.86	152.36 162.55	152.51 160.39	152.47 163.64	144.49 163.76	147.43 172.30	154.09 179.33	156.75 183.57	150.69 174.74	151.00 175.00	
オフィス・ホーム プリンティング	オフィス・ホーム IJP 本体	売上収益(円貨)	伸長率	+11%	+10%	+4%	+6%	+7%	-4%	+2%	+4%	+16%	+5%	+4%	
		売上収益(現地通貨)	伸長率	+1%	+9%	+3%	+6%	+5%	+3%	+2%	+0%	+9%	+4%		
		本体販売数量	伸長率	+7%	+11%	+5%	+4%	+7%	+1%	+1%	+0%	+11%	+3%	+1%	
		本体販売数量	万台					約1,660					約1,710	約1,720	
		SOHO・ホーム向け大容量インクタンクモデル	万台					約1,310					約1,370	約1,410	
		SOHO・ホーム向けI/Cモデル	万台					約315					約305	約270	
		オフィス共有IJP	万台					約35					約35	約40	
	オフィス・ホーム IJP インク	インク売上収益比率 インク÷(本体+インク)	構成比					37%						36%	35%
		売上収益(円貨)	伸長率	+8%	+7%	-3%	+3%	+3%	-11%	+1%	+4%	+7%	+0%	-3%	
		売上収益(現地通貨)	伸長率	-1%	+5%	-4%	+3%	+0%	-6%	+0%	+1%	+1%	-1%		
ビジュアル コミュニケーション	プロジェクター 本体	売上収益(円貨)	伸長率	+5%	-8%	-13%	-6%	-6%	-18%	-15%	-7%	-2%	-11%	+4%	
		売上収益(現地通貨)	伸長率	-6%	-10%	-14%	-7%	-10%	-13%	-15%	-10%	-8%	-12%		
		本体販売数量	伸長率	-8%	-10%	-20%	-12%	-13%	-22%	-22%	-10%	-11%	-17%	+0%	
		本体販売数量	万台					約155					約130	約130	

		(億円)									
		FY2024 Q1 実績	FY2024 Q2 実績	FY2024 Q3 実績	FY2024 Q4 実績	FY2024 通期 実績	FY2025 Q1 実績	FY2025 Q2 実績	FY2025 Q3 実績	FY2025 Q4 実績	FY2025 通期 実績
為替レート	USD	155.79	149.23	152.36	152.51	152.47	144.49	147.43	154.09	156.75	150.69
(円)	EUR	167.74	163.86	162.55	160.39	163.64	163.76	172.30	179.33	183.57	174.74
プリンティングソリューションズ	売上収益	2,359	2,406	2,553	2,483	9,801	2,270	2,513	2,770	2,743	10,295
	セグメント利益	296	339	332	281	1,248	282	262	346	316	1,206
オフィス・ホームプリンティング	売上収益	1,611	1,677	1,841	1,676	6,805	1,492	1,692	1,899	1,869	6,952
	事業利益	133	155	198	154	639	142	121	161	171	595
商業・産業プリンティング	売上収益	749	729	711	808	2,998	777	821	872	874	3,344
	事業利益	163	184	135	127	609	140	141	185	145	611
ビジュアルコミュニケーション	売上収益	557	524	510	447	2,038	455	446	474	439	1,814
	セグメント利益	78	82	81	50	290	48	35	31	9	123
マニファクチャリング関連・ウエアラブル	売上収益	453	446	442	473	1,815	499	517	523	522	2,061
	セグメント利益	-3	-2	-24	-3	-32	13	41	28	26	108
調整額	売上収益	-3	-0	-9	-12	-25	-14	-11	-2	-10	-37
全社費用・その他・セグメント間消去	セグメント利益	-136	-143	-160	-171	-611	-145	-161	-142	-151	-598
	売上収益	3,366	3,376	3,496	3,391	13,629	3,209	3,465	3,765	3,694	14,133
	事業利益	235	275	229	156	896	198	177	264	200	838
連結合計	ROS	7.0%	8.2%	6.6%	4.6%	6.6%	6.2%	5.1%	7.0%	5.4%	5.9%
研究開発費		108	101	98	122	428	113	118	116	121	468
設備投資	プリンティングソリューションズ	91	99	133	141	464	79	104	109	187	479
	ビジュアルコミュニケーション	12	24	28	28	91	15	14	16	26	71
	マニファクチャリング関連・ウエアラブル	14	26	33	54	126	18	22	26	30	96
	全社費用・その他	12	20	18	28	77	47	9	17	27	99
減価償却費	プリンティングソリューションズ	109	107	108	127	452	120	123	122	123	488
及び償却費*	ビジュアルコミュニケーション	23	23	23	24	93	23	24	24	25	96
	マニファクチャリング関連・ウエアラブル	27	27	27	27	109	27	27	28	29	111
	全社費用・その他	17	16	17	17	67	20	20	20	20	80
営業CF		353	347	388	293	1,381	32	210	379	503	1,124
FCF		156	172	-583	128	-127	-189	63	284	310	468

\* FY2025/Q1,Q2,Q3の事業セグメント別減価償却費および償却費の数値に変更があります。詳細は正誤表をご確認ください

## 変更前

(億円)

		FY2025 Q1 実績	FY2025 Q2 実績	FY2025 Q3 実績	FY2025 Q4 実績
減価償却費 及び償却費	プリンティングソリューションズ	123	124	124	
	ビジュアルコミュニケーション	23	24	24	
	マニファクチャリング関連・ウエアラブル	27	28	28	
	全社費用・その他	16	18	18	

## 変更後

(億円)

		FY2025 Q1 実績	FY2025 Q2 実績	FY2025 Q3 実績	FY2025 Q4 実績	FY2025 通期 実績
減価償却費 及び償却費	プリンティングソリューションズ	120	123	122	123	488
	ビジュアルコミュニケーション	23	24	24	25	96
	マニファクチャリング関連・ウエアラブル	27	27	28	29	111
	全社費用・その他	20	20	20	20	80

## 差額

(億円)

		FY2025 Q1 実績	FY2025 Q2 実績	FY2025 Q3 実績	FY2025 Q4 実績
減価償却費 及び償却費	プリンティングソリューションズ	-3	-2	-2	
	ビジュアルコミュニケーション				
	マニファクチャリング関連・ウエアラブル		-1		
	全社費用・その他	3	2	2	

		(億円)					
		FY2025 Q1 実績	FY2025 Q2 実績	FY2025 Q3 実績	FY2025 Q4 実績	FY2025 通期 実績	FY2026 通期 予想
為替レート (円)	USD	144.49	147.43	154.09	156.75	150.69	151.00
	EUR	163.76	172.30	179.33	183.57	174.74	175.00
プレゼンジョンイノベーション	売上収益	403	408	425	439	1,675	1,820
	セグメント利益	96	112	112	120	440	500
インダストリアル&ロボティクス	売上収益	696	738	778	767	2,978	3,100
	セグメント利益	38	46	79	39	202	240
オフィス・ホームプリンティング	売上収益	1,488	1,675	1,894	1,869	6,925	6,980
	セグメント利益	146	120	169	177	612	560
ビジュアル&ライフスタイル	売上収益	627	632	645	605	2,509	2,520
	セグメント利益	60	57	42	10	169	200
調整額	売上収益	-5	13	22	15	45	80
全社費用・その他・セグメント間消去	セグメント利益	-143	-158	-138	-147	-586	-600
連結合計	売上収益	3,209	3,465	3,765	3,694	14,133	14,500
	事業利益	198	177	264	200	838	900
	ROS	6.2%	5.1%	7.0%	5.4%	5.9%	6.2%
研究開発費	連結合計	113	118	116	121	468	460
設備投資	連結合計	159	149	167	270	745	850
減価償却費及び償却費	連結合計	190	194	195	197	775	780
営業CF		32	210	379	503	1,124	1,200
FCF		-189	63	284	310	468	500
ROIC(%)	連結合計					5.5%	5.9%



## 地域別売上収益

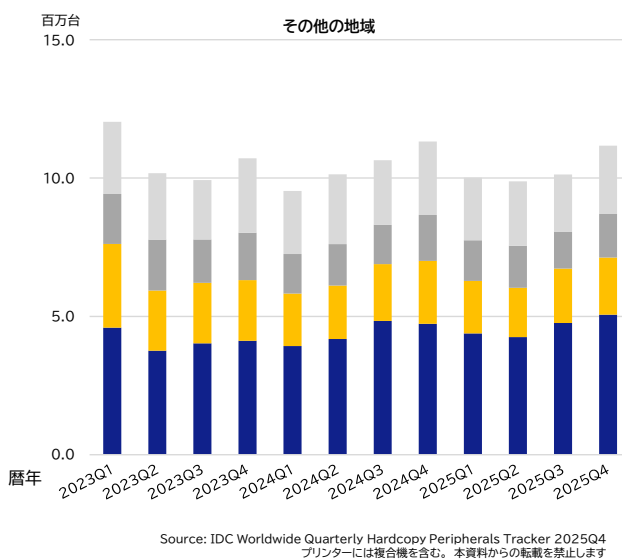
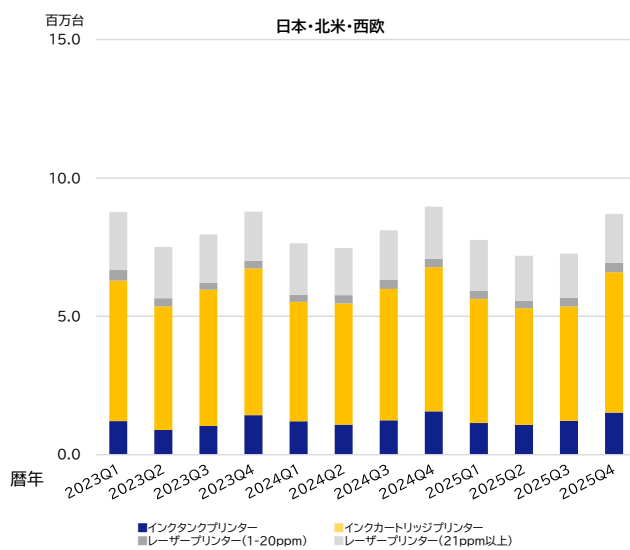
為替レート(円)	USD	137.18	144.47	147.78	148.31	155.79	149.23	152.36	152.51	144.49	147.43	154.09	156.75
	EUR	149.40	157.20	158.98	161.07	167.74	163.86	162.55	160.39	163.76	172.30	179.33	183.57

売上収益(億円)	FY23/Q1	FY23/Q2	FY23/Q3	FY23/Q4	FY24/Q1	FY24/Q2	FY24/Q3	FY24/Q4	FY25/Q1	FY25/Q2	FY25/Q3	FY25/Q4	対前年同期
日本	529	526	637	541	520	544	610	586	544	579	626	571	-15
米州	1,069	1,063	1,081	1,088	1,146	1,066	1,066	1,115	1,088	1,116	1,170	1,207	+92
欧州・中東・アフリカ	622	709	842	722	680	748	781	781	640	748	880	867	+86
アジア・オセアニア	928	939	976	868	1,021	1,018	1,039	909	937	1,022	1,090	1,049	+140
連結合計	3,148	3,237	3,536	3,219	3,366	3,376	3,496	3,391	3,209	3,465	3,765	3,694	+303

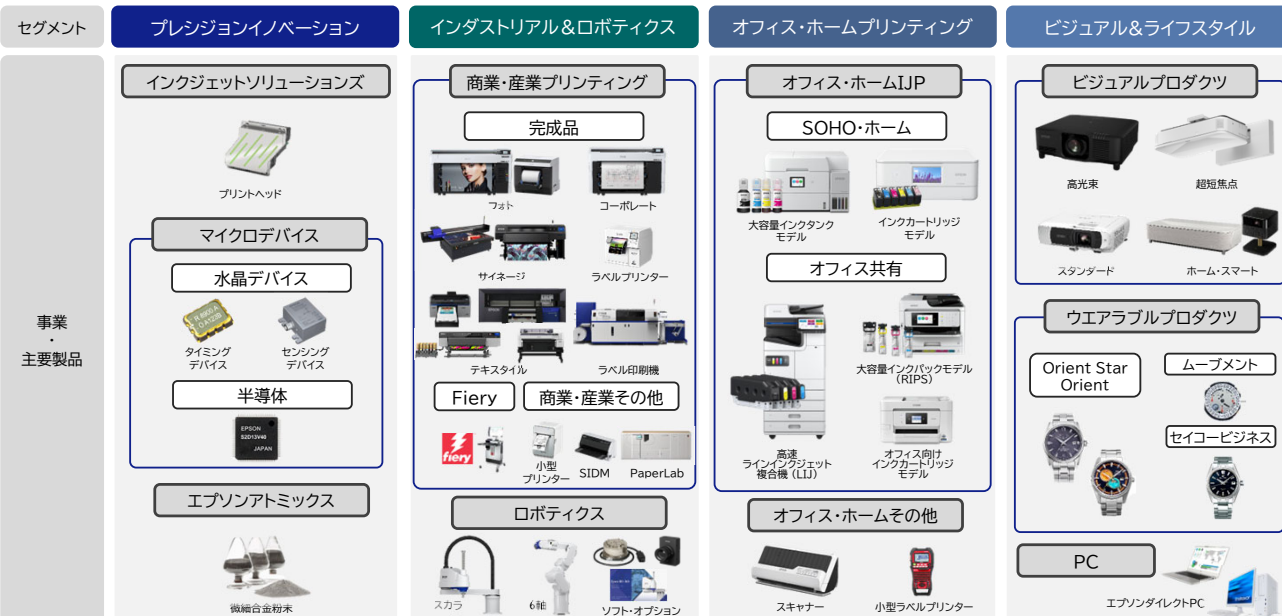
構成比	FY23/Q1	FY23/Q2	FY23/Q3	FY23/Q4	FY24/Q1	FY24/Q2	FY24/Q3	FY24/Q4	FY25/Q1	FY25/Q2	FY25/Q3	FY25/Q4	
日本	16.8%	16.3%	18.0%	16.8%	15.4%	16.1%	17.4%	17.3%	17.0%	16.7%	16.6%	15.5%	
米州	34.0%	32.8%	30.6%	33.8%	34.0%	31.6%	30.5%	32.9%	33.9%	32.2%	31.1%	32.7%	
欧州・中東・アフリカ	19.7%	21.9%	23.8%	22.4%	20.2%	22.2%	22.4%	23.0%	19.9%	21.6%	23.4%	23.5%	
アジア・オセアニア	29.5%	29.0%	27.6%	27.0%	30.3%	30.2%	29.7%	26.8%	29.2%	29.5%	28.9%	28.4%	

## 従業員数

期末従業員数(人)	2023/6末	2023/9末	2023/12末	2024/3末	2024/6末	2024/9末	2024/12末	2025/3末	2025/6末	2025/9末	2025/12末	2026/3末	対前年同期
国内	20,633	20,535	20,323	20,209	20,702	20,672	20,439	19,924	20,324	20,137	20,008	19,470	-454
海外	57,932	55,764	54,649	54,255	56,969	57,889	56,808	55,428	55,308	56,025	55,354	55,115	-313
連結合計	78,565	76,299	74,972	74,464	77,671	78,561	77,247	75,352	75,632	76,162	75,362	74,585	-767







## ESG インデックス 組み入れ・ 格付け

- FTSE4Good Index Series
- FTSE JPX Blossom Japan Index
- FTSE JPX Blossom Japan Sector Relative Index
- MSCI日本株ESGセレクト・リーダーズ指数
- MSCI日本株女性活躍指数（WIN）
- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数
- Morningstar Japan ex-REIT Gender Diversity Tilt Index
- SOMPOサステナビリティ・インデックス
- ISS ESGのESG コーポレートレーティング評価「プライム」
- CDP企業調査2025「Aリスト」企業（分野：水セキュリティ）
- 日本政策投資銀行（DBJ）環境格付け融資「ランクA」
- MSCI ESG レーティング「AAA」
- EcoVadis社のサステナビリティ評価「プラチナ」

## ESG 関連表彰・ 銘柄選定 など

- 海外主力工場でRBA\*1監査の最高位プラチナ認証取得（インドネシア、タイ、中国）
- IAM「2025 アジア知財エリート（The 2025 Asia IP Elite）」：2025年11月
- 「Clarivate Top 100 グローバルイノベーター2026」：2026年1月
- 第34回地球環境大賞「経済産業大臣賞」：2026年3月
- 「健康経営優良法人（ホワイト500）」\*2：2026年3月
- 日経225：2017年から選定

## GPIFが採用する ESG国内指数6件全てに選定



FTSE JPX Blossom  
Japan Index



FTSE JPX Blossom  
Japan Sector  
Relative Index

2026 CONSTITUENT MSCI日本株  
ESGセレクト・リーダーズ指数

2026 CONSTITUENT MSCI日本株  
女性活躍指数（WIN）



S&P/JPX  
カーボン  
エフィシエント  
指数

\*1 The Responsible Business Alliance、世界最大級のCSR推進企業同盟

\*2 健康経営の目的・体制

<https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/health-and-productivity.html>

## 投資家情報



- IRライブラリ <https://corporate.epson/ja/investors/publications/>
    - 経営・事業戦略説明会 <https://corporate.epson/ja/investors/publications/presentations.html>
    - 統合レポート <https://corporate.epson/ja/investors/publications/integrated-report.html>
  - 5分で分かるエプソン <https://corporate.epson/ja/investors/overview/>
  - 株主還元 <https://corporate.epson/ja/investors/information/stock-dividends.html>
- 
- パーパス <https://corporate.epson/ja/philosophy/purpose/>
  - 長期ビジョン <https://corporate.epson/ja/philosophy/vision/>

## サステナビリティ

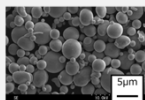


- サステナビリティ経営 <https://corporate.epson/ja/sustainability/initiatives/>
- 環境 <https://corporate.epson/ja/sustainability/environment/>
- 人材 <https://corporate.epson/ja/sustainability/our-people/>
- ESGデータ <https://corporate.epson/ja/sustainability/esg-data/>

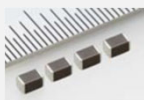
## 独自製法による金属粉末・金属射出成形品と、水晶デバイス用人工水晶原石を製造

## 金属粉末事業

- 世界トップクラス\*のシェアを誇る金属粉末の製造
- 独自のアトマイズ製法により、超微細粉末の大量生産が可能



金属粉末

電気自動車の  
電装部品原材料SMD  
インダクタ

\*アトマイズ製法で製造されるアルファス粉末の販売において



エプソンアトミックス株式会社



本社:青森県八戸市大字河原木字海岸

## 金属射出成形事業

- 自社の金属粉末で、複雑形状や高密度の部品を製造
- 原料の金属粉末製造から金属射出成形までの一貫体制



成形用ペレット



プリンター部品



歯列矯正部品

## 人工水晶事業

- 高品質人工水晶原石を製造



人工水晶



タイミングデバイス



北インター事業所:青森県八戸市北インター工業団地



北インター第二事業所:青森県八戸市北インター工業団地

I/C	Ink Cartridge, インクカートリッジ
IJP	Inkjet Printer, インクジェットプリンター
LIJ	Line Inkjet Printer, ラインインクジェット複合機
LP	Laser Printer, レーザープリンター(複合機含む)
RIPS	Replaceable Ink Pack System, 大容量インクパックモデル
大容量インクタンクモデル	エコタンク搭載インクジェットプリンター
大容量インクモデル	大容量インクタンクモデル、大容量インクパックモデル(RIPS)、高速ラインインクジェット(LIJ)の総称
SOHO	Small Office Home Office, 小規模オフィス・ホームオフィス
オフィス共有	製品カテゴリーの1つ。高プリントボリュームオフィス向けプリンター。I/Cモデル,RIPS,LIJを含む
Epson Connect	エプソンの製品・サービスを対象としたモバイル・クラウドサービス
Color Control Technology	商業・産業印刷における色再現性を高めるカラーマネジメント技術
分散印刷	同一内容の印刷データを複数のプリンターを用いて印刷する方法
SIDM	Serial Impact Dot Matrix Printer
3LCD	プロジェクター方式の1つ。液晶パネル3枚を使う方式
高光束プロジェクター	交換レンズ機能付き高輝度プロジェクター
スマートプロジェクター	500lm以上で、独立してネットワーク接続が可能かつ動画配信サービスなどが利用可能なプロジェクター
FPD	Flat Panel Display, フラットパネルディスプレイ
MEMS	Micro Electro Mechanical Systems。一つのシリコン基板、ガラス基板、有機材料などの上に、サブミクロンレベルの精度で機械要素部品やセンサー、アクチュエーター、電子回路などを集積化する技術
TCXO	温度補償型水晶発振器。周波数の安定度を高めるために、温度補償回路を設けた水晶発振器
RTC	リアルタイムクロックモジュール。水晶振動子とICを一体化し、日時データを生成するデバイス
産業領域	インクジェットソリューションズ、マイクロデバイス、エプソンアトミックス、ロボティクス、商業・産業プリンティングを含む事業領域



### 将来見通しに係わる記述についての注意事項

- 本説明資料に記載されている将来の業績に関する見通しは、公表時点で入手可能な情報に基づく将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのため、実際の業績はさまざまな要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与えうる要素としては、日本および海外の経済情勢、市場におけるエプソンの新製品・新サービスの開発・提供とそれらに対する需要の動向、価格競争を含む他社との競合、テクノロジーの変化、為替の変動などが含まれます。なお、業績などに影響を与えうる要素は、これらに限定されるものではありません。

### 事業利益について

- 事業利益は、売上収益から 売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。連結包括利益計算書上に定義されていない指標であるものの、日本基準の営業利益とほぼ同じ概念であることから、連結財務諸表の利用者がエプソンの業績を評価する上でも有用な情報であると判断し、追加的に開示しています。

### 本説明資料における表示方法

- 数値：表示単位の一桁下位を四捨五入
- 比率：円単位で計算後、表示単位の一桁下位を四捨五入
- 年度：断りが無い限り、会計年度を示す

**EPSON**